

共同研究 瀬戸内海の歴史民俗

二神島調査と研究成果の とりまとめについての経過報告

田上 繁

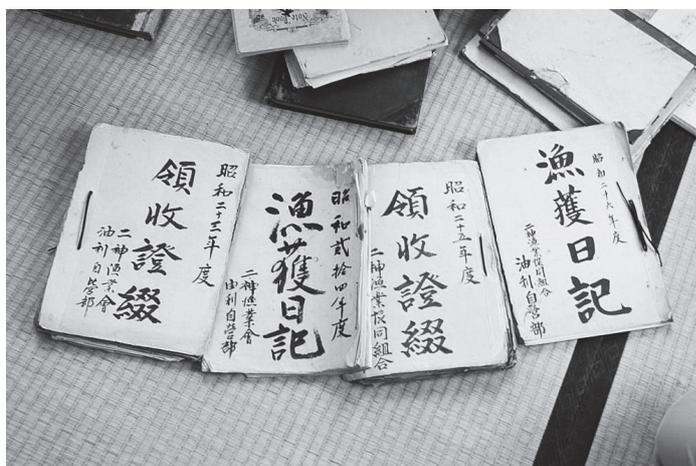


写真1 漁業協同組合文書等（2008年9月）

2008年度より開始した瀬戸内海における歴史民俗の総合的研究は、文献史学、民俗・民具学、建築史学、文化人類学など、研究分野を異にする本研究所の所員を中心に、客員・特別研究員、歴史民俗資料科学研究科院生、さらには、地域の研究者などの協力のもとに、学際的な研究として進められている。

特に、瀬戸内海の小島、二神島の調査は、財団法人日本常民文化研究所が水産庁の委託事業「漁業制度資料調査保存事業」を推進する中で、宮本常一・網野善彦・河岡武春らによって1950年代に行われていたが、1982年、本学に研究所が招致されると、網野を中心に直ちに再開され、以後断続的に調査が実施されてきた。2008年より二神家文書・漁業協同組合文書等の整理・目録作成、二神島を中核とする瀬戸内海関連地域の民俗誌作成のための現地調査を実施し、定期的な研究会の開催を通じて、学際的な共同研究であるがゆえに成しうる研究成果を挙げることを目的に取り組んでいる。



写真2 古文書の撮影風景（2010年3月）



写真3 二神島集落の墓石調査（2010年9月）

2014年度の活動

2014年度からは、最終的な研究成果をまとめる期間と位置づけているため、大掛かりな現地調査は実施しなかった。民俗班では、2014年11月25日～28日に愛媛県松山市二神島の墓石の補充調査を行った。歴史班は、12月24日～25日に二神島の写真資料集の素材となる借用した写真を返却するために、また、2015年2月12日～14日に写真をデータ化する作業及び二神司朗家の残古文書の確保、第一次整理などを行うために、2度にわたって二神島を訪れた。

この写真資料集というのは、島に残る個人所有の写真をすべて収集、スキャンして資料化するものであり、この形態の資料集は、今後、研究所の新たなジャンルとして組み込まれることになる。なお、2014年度までの主な成果は、文書目録『二神司朗家文書目録1・2』の公刊であるが、次年度からの刊行に向けて、歴史班、民俗班がそれぞれ成果の取りまとめに入っている。2015年度には、写真資料集『島の写真帖 vol.1・vol.2』の発行を皮切りに、史料集『二神司朗家文書 中世・系図編 伊予国風早郡二神嶋（愛媛県松山市二神）』、『論集「瀬戸内海の歴史民俗」』、文書目録『二神司朗家文書目録3』『同4』などが刊行される予定である。以後、調査報告書『二神島墓石・葬送習俗に関する研究』、『二神島木造船に関する研究』、史料集『二神司朗家文書（近世編）』『同III』、などの出版も計画されている。



写真4 借用した写真を整理して返却（2014年12月）